



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和5年9月5日(火) No. 6

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

URL : [https:// tokushi.miyakyo-u.ac.jp](https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp)

附属特別支援学校 令和5年夏の思い出

7月22日(土)から8月23日(水)まで33日間の夏休みが終わりました。今夏は初めて経験するような猛暑が続きましたが、ご家庭で熱中症対策、感染症対策をはじめ、お子様の健康管理に努めていただきましたことから、8月24日は、太陽に負けないぐらいまぶしい子供たちの笑顔と、弾けるような元気な声が青葉山に戻ってきました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行して迎える長期休み、各地で様々なイベントもあり、教師や友達に夏休みの思い出を楽しそうに話す様子が各学部や教室で見られました。

学校の夏休みの思い出は研修と、夏休み明けに充実した教育活動を進めるための環境整備と授業の準備です。児童生徒の安心・安全を守り、実りの秋に向けて児童生徒一人一人がもつ「4つの種」が実を結ぶように、努めて参ります。



安全の保持と専門性の向上を目指す

8月22日(火)、木工機械の操作について専門家から安全な使用方法を学び、教育活動に生かしていくことをねらいとして、本校教職員を対象とした「安全対策研修会」を、宮城教育大学で「もの作り」を専門としております、水谷好成先生と荒明聡先生をお招きし行いました。水谷先生は本校元校長、荒明先生は中学校での技術科教員を経験されていたことから、本校の作業活動や木工室利用の視点から即実践につながるようなお話を実際に機械を動かしながら、説明してくださいました。ご指導ご助言いただいたことを日々の教育活動に生かして参ります。



僕たちの飾りもきれいだよ!

8月1日(金)、小学部の児童が制作した七夕飾りを、仙台七夕祭りに向けてアーケードに飾りました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、4年振りに児童が参加できるようになりました。アーケードの天井から吊す前に、飾りの破れ等がないかを丁寧に見たり触ったりしながら確認しました。飾りが天井から吊されると、吹き流しが揺れる様子をうれしそうに見上げていました。



(文責 菅原 しのぶ)